



カタクリ

カタクリは、山地の斜面に自生するユリ科の多年生草本で、4月下旬に  
繁殖の形を現わします。  
花は、葉のあたる日中に開花が盛んになり、夕方には萎縮運動を繰り返  
り萎みます。球根はラン科の球根を酷くしたような形をして、地表から  
20cm程度深さにあります。  
県内では、新幹山・内野などの郡家と河内、筑前山・スズメから  
筑前山頂への登山道周辺に大群落があり、春になると花畑のように一面  
白くなります。

環境庁・筑城局

カタクリ  
することは  
律により  
しょう!  
署・真壁町

自然を大  
しょう  
火気に注  
ましよう